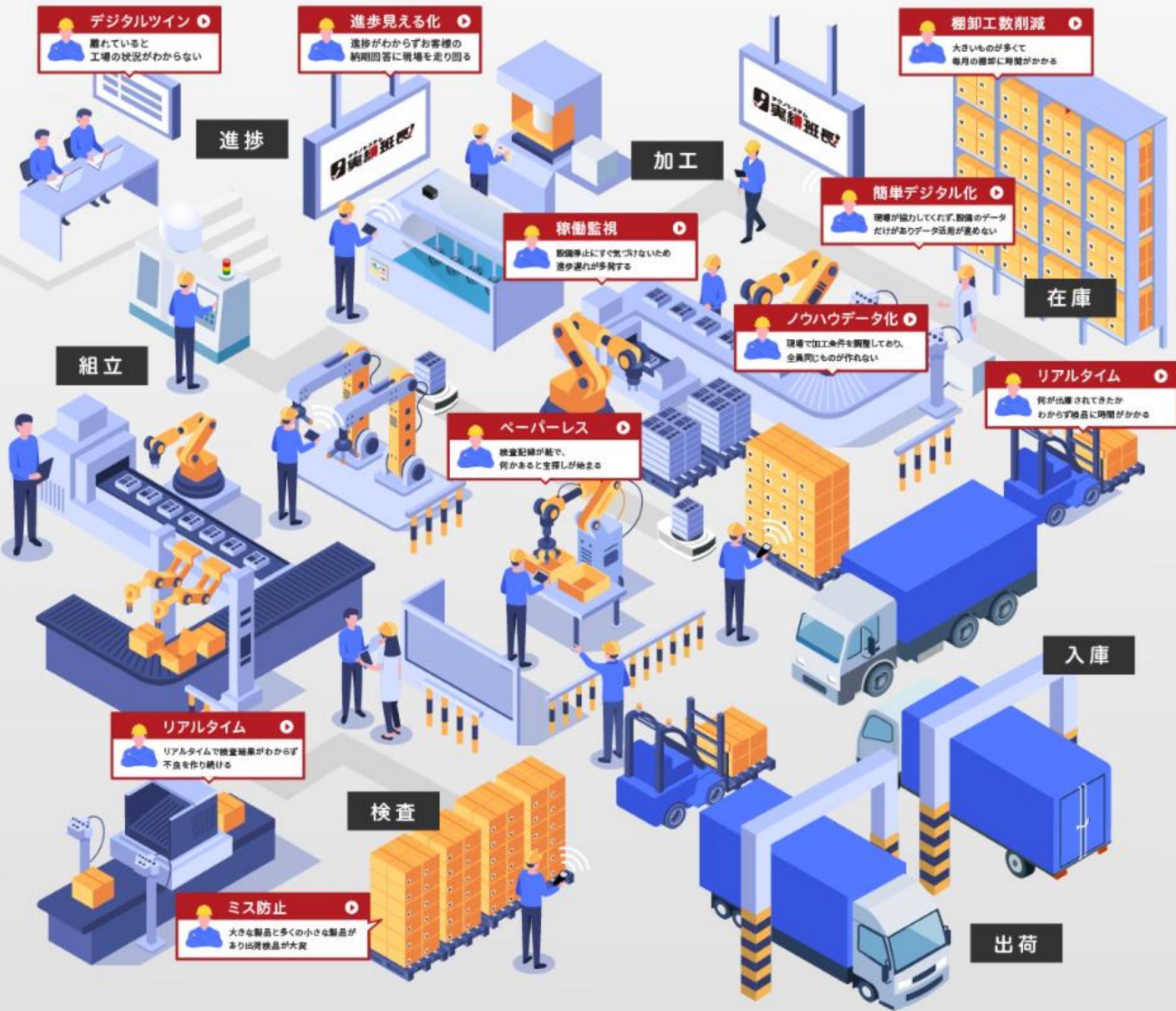


製造現場のさまざまな課題を



実績班長を活用した現場のデジタル化で解決します

DX (デジタルトランスフォーメーション) の実現に向けて

DXの実現に向けてまず取り組むべきはことは、生産の現場で起こっている『コト』をデジタル化する、つまり、ヒト・設備の動きを生産の流れにあわせてデータとして収集することではないでしょうか。

実績班長は収集したデータをつなぎあわせ、製造に関わる一連のプロセスをデジタル化することで、現場のさまざまな課題を解決します。



型を使う ものづくり

データ収集
かけもち作業で作業時間をデータにできない

稼働監視
かけもち作業で設備停止にすぐ気づけない

金型管理
金型のメンテナンス時期が使用頻度で管理できない

データ収集
設定値が紙に手書きで、後で正確な数値がわからない

スキル継承
段取り時間が人により違うような気がする

加工する ものづくり

データ収集
複数人で作業しており、誰が何を作ったかのデータがとれない

データ収集
かけもち作業で作業時間をデータにできない

作業計画
複数の設備を効率よく利用したいが稼働予定がわからない

データ収集
段取り替えが多いため、実際に製造している時間を知りたい

IoT
IoT化したいが導入メーカーがばらばらで進まない

変化させる ものづくり

技能継承
現場を見て熟練者が温度・時間等の設定をしている

タイマー
選択時間や加熱時間の時間管理を正確にしたい

製造プロセス
材料の投入順序や洗浄のミスを減らしたい

予兆検知
温度変化の予兆検知を実現したい

ミス防止
計量データの入力ミスをなくしたい

組立・接合する ものづくり

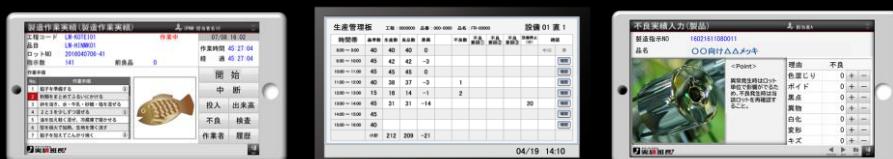
データ収集
製造中に仕様変更が入るため変更工数も正確に把握したい

在庫管理
部品点数が多く、仕掛在庫の量がわからない

品質管理
誰にどのような不良が多いかわからない

データ収集
不良があると現場でリペアしているが、工数がわからない

データ収集
かんばん方式と受注生産方式が混在しデータ収集が難しい



生産現場の課題解決は



おまかせください！

現場のお困りごとをぜひ『実績班長』にご相談ください。
『実績班長』はITとIoTを活用して現場のデジタル化を進め、次世代の
カイゼン活動や効率化を実現するシステムです。